

協働

第17号 2025年7月22日

町田市教育委員会

指導課長 大山 聡

発行：町田市学校支援センター

第1回中学校VCミーティング開催

中学校全体学校支援ボランティアコーディネイターミーティングが、6月23日（月）町田市庁舎10階会議室で21名の参加で行われました。司会の宮島 GVC から、地域未来塾のアンケートへのお礼と、夏季に地域未来塾講師の研修計画があることについて話がありました。指導課管理係・山田主任から、以下の点について話がありました。地域未来塾のアンケートについての御礼（VC・地域未来塾講師・学校管理職）、部活動・地域未来塾・不登校支援にかかる補助金活用について、職場体験学習Ⅰ



期（9/17～19）Ⅱ期（11/19～21）Ⅲ期（2026, 1/21～23）充足率について（Ⅰ期・120%、Ⅱ期・103%、Ⅲ期・85%）の報告とともに、今年度、指導課管理係に配属された松尾主事の紹介がありました。学校支援センターの事業推進状況については、黒部 GVC から学校訪問を実施した学校（小山田中学校、成瀬小学校、本町田ひなた小学校）の報告とともに、今後訪問予定の学校（真光寺中学校、山崎中学校）について説明がありました。その他の説明として、宮島 GVC から今後の事業計画が説明されました。また、10月に開催予定の「町田市学校ボランティア感謝状贈呈式」について、今年度は、各学校の管理職が参加できる案を考えているとの話がありました。「放課後学習 地域未来塾」について、天利 GVC から以下のような説明・研修がありました。2003年～2008年・杉並区立和田中学校に、初の民間人校長である藤原和弘氏が民間の教育力を学校に取り入れたことが話題になりました。町田市教育プラン24-28にある、放課後学習の充実、町田市未来の学びLab、地域と連携した学びを推進することを地域未来塾と連動して進めることが大切です。地域未来塾の目標とするところは、「基礎学力定着」「学習習慣の定着」にあると共に、地域の教育力を発揮して実施するところにあります。結果を急ぎすぎない、基礎学力の定着・学習習慣の定着は、簡単には身につけません。まずは、子どもたちの学習の居場所として「安心」できる居場所づくりを進めたい。学習を受ける生徒の情報については、学校の先生方と共有することが必要で、そのためには学校管理職の理解と協力が無いと進められない等の説明がありました。引き続き、黒部 GVC から「地域未来塾のVCアンケート結果」について、特徴的な内容をグラフにした資料に基づいた説明がありました。

最後に「地域未来塾」について、各学校の実施状況とVCの視点からみられる課題について約30分のグループワークを行いました。

以下のとおり、各グループで話された内容の一部を情報共有しました。

○テスト対策としてテスト前に実施 ○地域の学生が講師であるとよいが、一般公募だと「様々な考えの方」が講師になってしまうことが現実にある ○教科書・教材の確保、インターネット等の無償教材の印刷・保管が課題 ○教員が生徒の様子を見まわる ○全校生徒に「地域未来塾」の申込用紙を配付している ○体験学習してから決定する ○申し込んだら必ず出席・電話連絡をする ○出席・欠席も生徒に任せる ○実施教科ごとに生徒を募集する（全体が見えづらい） ○学校が主体・VC が主体により学習形態が違ってくる ○特定の生徒を参加対象とする ○教師とのかかわりが難しい、生徒の必要な情報が入ってこない ○地域未来塾について教師の理解が進んでいない ○VC と教師の情報連携が難しい ○VC の謝金が高い ○学習習慣・学習の場の確保と継続が大切 ○生徒について学校と共有できる場であってほしい等の意見が出されましたが、グループワークの時間がもう少し取れるとよかったとの意見も聞かれました。

第2回統括VCミーティング開催

第2回統括VCミーティングが7月1日（火）町田市庁舎2階市民協働おうえんルームにて、9名の参加者で開催されました。ミーティングに先立ち、町田市地域福祉部福祉総務課から民生委員・児童委員の募集についてお知らせがありました。始めに、指導課管理係から、学校支援人材バンクについて一覧表の作成と活用について説明がありました。説明内容について、報告書に互換性を持たせ調査内容がリンクできる手立てはないのだろうかとの質問があり、今後も活用についての確認を進めることが話されました。



引き続き、宮島 GVC から学校支援センターの報告事項として、5月30日（金）に行われた、東京都統括コーディネーター会議の報告がありました。参加された、山口・井上 VC から活動報告が引き続きあり、ボランティアマップを作成している地域についての説明がありました。6月17日に都議会議事堂1階 都民ホールにて、令和7年度地域学校協働活動推進事業関係担当者連絡会議が開催されました。天利 GVC からグループワークの内容の一部の報告がありました。6月までの学校訪問校（本町田ひなた小学校・成瀬小学校・小山田中学校・真光寺中学校）について、黒部 GVC から報告がありました。各地区から、7・8・9月に行われる「地区ミーティング」の日程確認と、地区の様子について報告がありました。報告の中で、管理職の異動・VC の交代や、統合校の新たに見えてきた課題などについて報告がありました。最後に、宮島 GVC から「町田市版・あるコーディネーターの一年の動き」の作成について説明があり、第3回統括VCミーティングまでに、プロットを作成してくることが課題として伝えられました。（文責 学校支援センター宮島 天利 黒部）